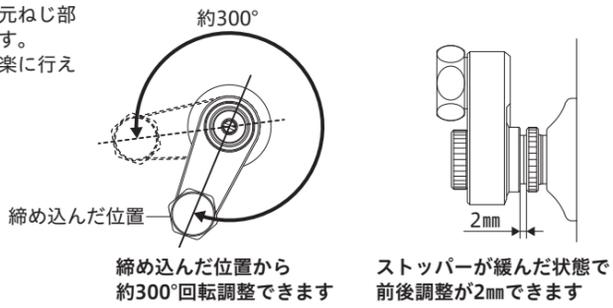


KVK 回転ソケット(楽付王) 取扱説明書・取り付け説明書

■回転ソケット付水栓の補足説明書です。ソケットの取り付けおよび取扱方法などにつきましては、この補足説明書にしたがって正しく行ってください。
この補足説明書は、同梱の取扱説明書・施工説明書と合わせて必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
■この説明書はサーモスタット仕様のイラストで説明しています。

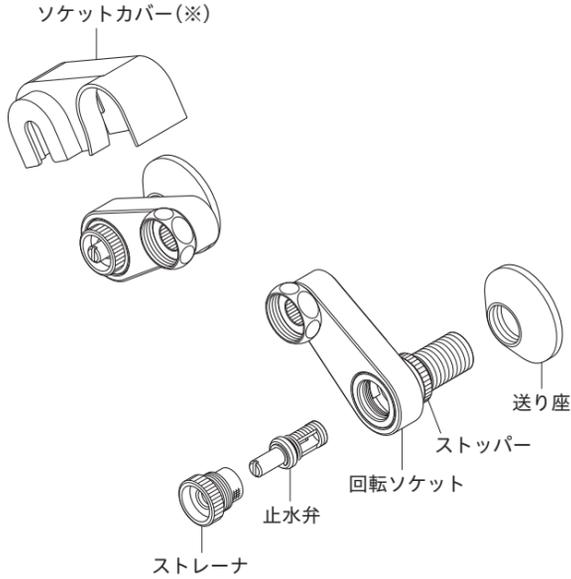
回転ソケット

ソケットを配管に取り付けてから、元ねじ部は固定したまま角度が調整ができます。また、前後調整もできるので施工が楽に行えます。



回転ソケットの分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

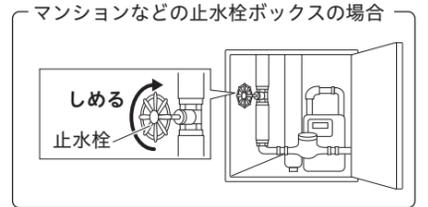


※ソケットカバーはシングルレバー仕様には同梱されていません。

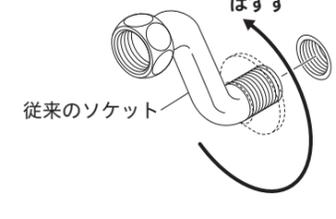
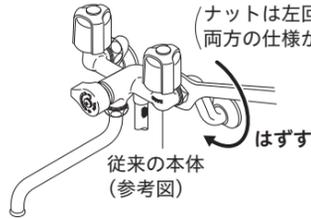
取り付け手順(施工説明書)の補足説明 1

従来品から取り替える場合※取り替えの際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。

- ① 止水栓を閉め、湯水が出ないことを確認します。
(地域によっては、左回しの場合があります)



- ② 従来品を取りはずします。
接続ナットをはずす
(ナットは左回し、右回し
両方の仕様があります)
- ③ 従来のソケットを取りはずします。



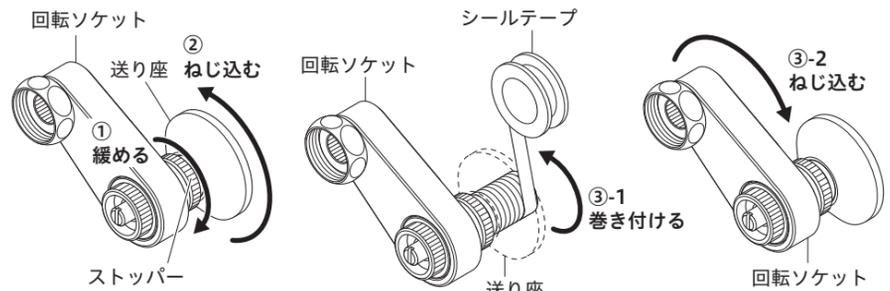
1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2-1 回転ソケットの取り付け

- ① ストッパーを緩めます。
② 回転ソケットに送り座を奥まではめます。
③ 回転ソケットのねじ部に向かって右向きにシールテープをくい込むように巻き付けて、配管に垂直にねじ込みます。(送り座を壁へ当てます。)

【△注意】図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
・工具の使用などによる過剰な締め付けはソケットや配管が破損する原因になります。

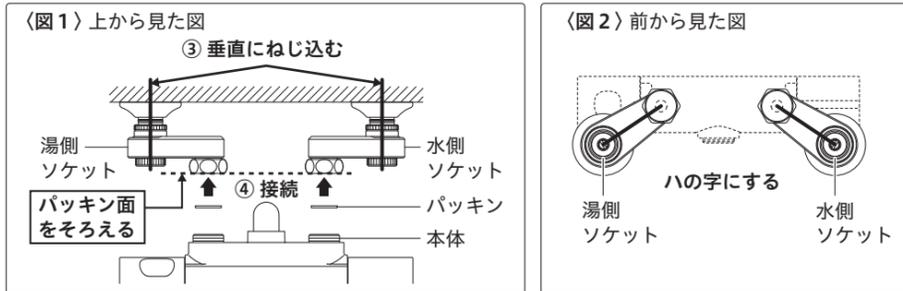
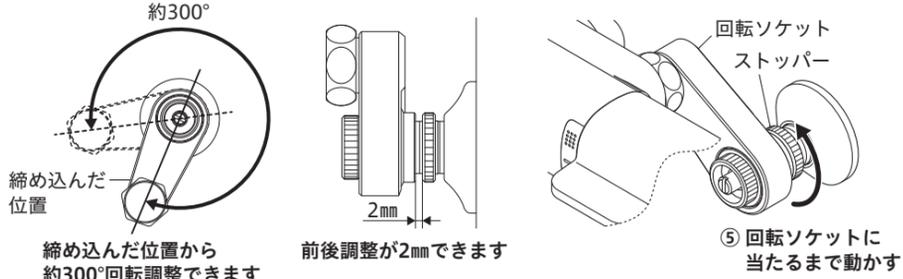


取り付け手順(施工説明書)の補足説明 2

- 2-2 ④ 湯水回転ソケットと水栓本体との間にパッキンを入れ、袋ナットで本体を固定します。
回転ソケットを左右に回したり、前後に動かしたりして調整し、本体を取り付けます。
図2のように「ハ」の字に取り付けてください。

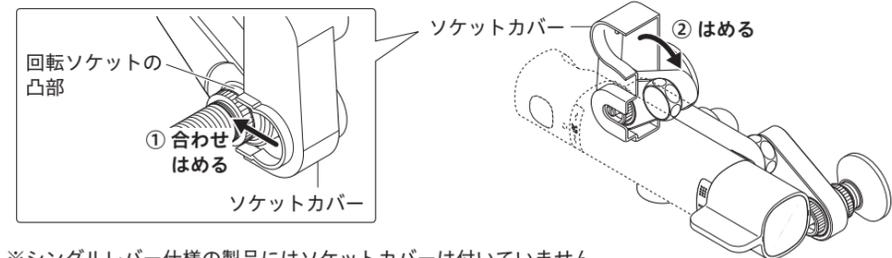
【△注意】回転ソケットの調整時に、元ねじが動かないように注意してください。
元ねじが戻ると水漏れの原因になります。

- ⑤ 本体取り付け後、ストッパーを回転ソケットに当たる位置まで動かします。



3 ソケットカバーの取り付け[ソケットカバー付仕様の場合]

ソケットカバーを湯側ソケットに取り付けます。ソケットカバーを回転ソケットの凸部(ソケット止水栓部裏面)に合わせはめてから、ナット部とソケットカバーを合わせはめます。

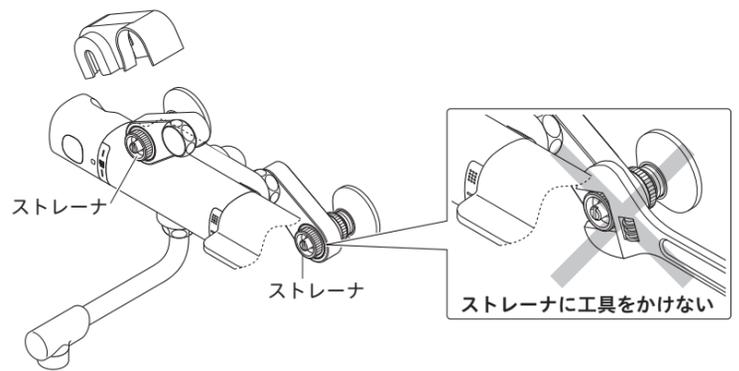


※シングルレバー仕様の製品にはソケットカバーは付いていません。

- 4 吐水口を本体に接続し、シャワー付仕様の場合は、シャワーホースを接続してください。
(同梱の施工説明書「取り付け手順」参照)

回転ソケットのストレーナについてのご注意

【△注意】施工後、ストレーナに工具などをかけてはくさないでください。
元ねじ部またはストレーナが戻り、漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



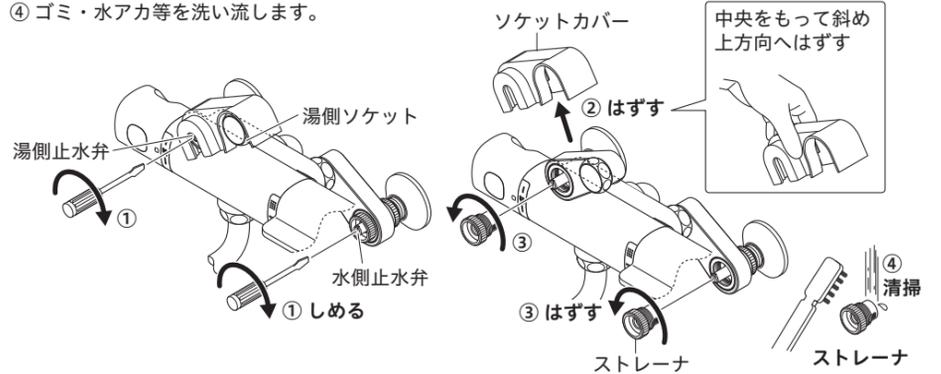
取り付け後の点検と清掃(施工説明書) / 日常の保守・点検(取扱説明書)補足説明

ストレーナ清掃のお願い(施工説明書) / ストレーナ清掃方法(取扱説明書)

ソケットのストレーナにゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり希望する温度にならない場合がありますので、施工後および定期的に清掃してください。

【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。
ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
② [ソケットカバー付仕様のみ]ソケットカバーを斜め上方向に引いて取りはずします。
③ 湯側・水側のストレーナ[2個]を取りはずします。
④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



清掃後は、上記と逆の手順で組み込んでください。
[サーモスタット仕様の場合]ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水側にしてください。

凍結予防のしかた(取扱説明書)補足説明 1

- 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。
凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。
 - 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。
- 【△警告】解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。
水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。
怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

一般地仕様水栓の場合

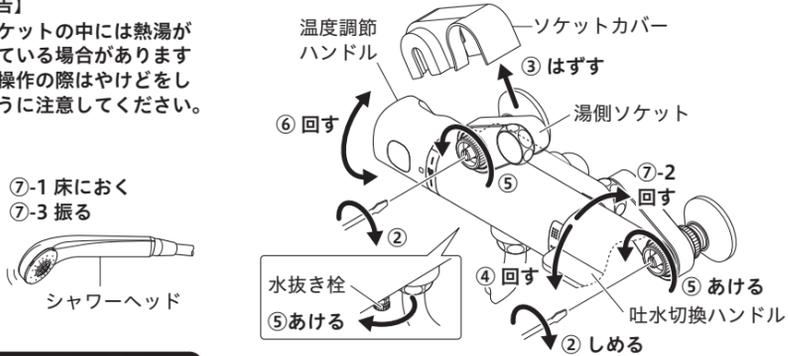
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。
・水栓より少量の水を出しておきます。 ・配管部などに布を巻きます。

寒冷地仕様水栓の場合

サーモスタット式水栓の場合

| 器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合) | 配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合) | 操作 |
|----------------------------|----------------------------|--|
| | ① | 配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) |
| ② | | 湯水の止水弁(2か所)をしめます。 |
| ③ | ③ | ソケットカバーを斜め上方向にはずします。 |
| ④ | ④ | 吐水切換ハンドルを吐水口側にします。 |
| ⑤ | ⑤ | 水抜き栓(1か所)とストレーナ(2か所)を開けて水を抜きます。 |
| ⑥ | ⑥ | 温度調節ハンドルを上に戻して水を抜き、下に戻して水を抜きます。 |
| ⑦ | ⑦ | (-1)シャワーヘッドを床におきます。 (-2)吐水切換ハンドルをシャワー側にします。 (-3)シャワーヘッドを振って中の水を抜きます。 |

【△警告】湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、吐水切換ハンドルを「-」の位置にしてから通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……吐水切換ハンドルを吐水口側にし、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

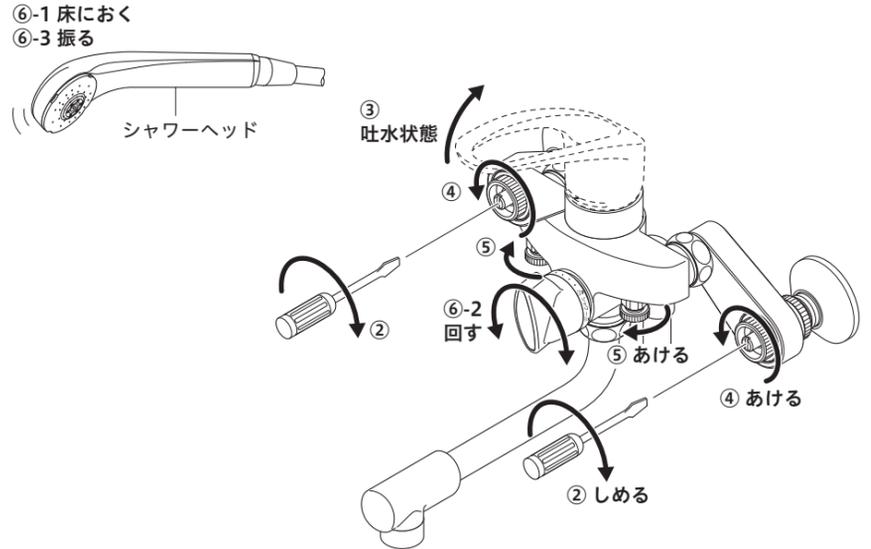
5 ページ

凍結予防のしかた(取扱説明書)補足説明 2

シングルレバー式水栓の場合

| 器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合) | 配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合) | 操作 |
|----------------------------|----------------------------|--|
| | ① | 配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) |
| ② | | 湯水の止水弁(2か所)をしめます。 |
| ③ | ③ | レバーハンドルを吐水状態にします。 |
| ④ | ④ | ストレーナ(2か所)を開けて水を抜きます。 |
| ⑤ | ⑤ | [W仕様の場合]本体の水抜き栓(2か所)を開けて水を抜きます。 |
| ⑥ | ⑥ | [シャワー仕様のみ] (-1)シャワーヘッドを床におきます。 (-2)吐水切換ハンドルを吐水口側にして水を抜きます。 (-3)吐水切換ハンドルをシャワー側にして、シャワーヘッドを振って中の水を抜きます。 |

【△警告】湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、レバーハンドルを下げて(止水状態)から通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……ハンドルを上げて(吐水状態)、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

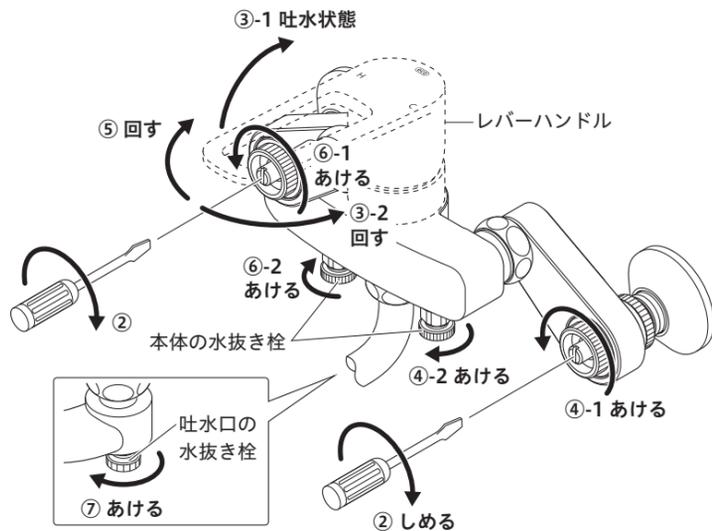
6 ページ

凍結予防のしかた(取扱説明書)補足説明 3

シングルレバー式混合栓(eレバー仕様)の場合

| 器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合) | 配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合) | 操作 |
|----------------------------|----------------------------|---|
| | ① | 配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作) |
| ② | | 湯水の止水弁(2か所)をしめます。 |
| ③ | ③ | レバーハンドルを全開状態で右側いっぱいに戻します。 |
| ④ | ④ | 水側ソケットの水抜き栓を開けて水を抜きます。 [W仕様のみ]本体右側の水抜き栓を開けて水を抜きます。 |
| ⑤ | ⑤ | レバーハンドルを全開状態のまま、左側いっぱいに戻します。 |
| ⑥ | ⑥ | 湯側ソケットの水抜き栓を開けて水を抜きます。 [W仕様のみ]本体左側の水抜き栓を開けて水を抜きます。 |
| ⑦ | ⑦ | [吐水口に水抜き栓がある場合]吐水口の水抜き栓を開けて水を抜きます。 |

【△警告】湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜き栓とストレーナがしまっていることを確認して、レバーハンドルを下げて(止水状態)から通水してください。
通水を再開しても水が出ない場合……ハンドルを上げて(吐水状態)、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。

7 ページ

8 ページ

405032-00